



GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区一覧（東日本）《R6.6.24現在》

長野県（ぶどう、もも、なし、りんご、いちご）

＜長野県農産物等輸出事業者協議会、JA全農長野、PFC長野が参画＞

- ▶ 輸出に対応した防除暦の見直し、輸出のための圃地登録及び選果こん包施設登録を推進。また、PFC長野を輸出拠点としたコールドチェーンが確保された一貫輸物流体系を実証

岐阜県農林水産物輸出促進協議会（柿）

＜岐阜県、JA全農岐阜・JA、輸出商社等が参画＞

- ▶ 可食性材料による青果物への直接コーティングや有孔パック容器等の品質保持資材及び鮮度保持フィルムの効果検証等を実施

静岡県かんしょ輸出促進協議会（かんしょ）

＜ジャパンベジタブル、日本農業、静岡県、タタラ商店が参画＞

- ▶ 耕作放棄地の活用により、輸出用かんしょ作付面積を拡大するとともに、出荷段ボール・パレット等の規格の変更による効率的な輸物流体系を構築

静岡茶輸出拡大協議会（茶）

＜静岡県、茶業関係団体、JETRO、茶商等が参画＞

- ▶ 県内3地区で輸出向け有機茶生産拡大のための実証を行うとともに、地元清水港を活用した混載輸送を実証

三重県養殖魚輸出産地協議会（養殖ぶり、養殖まだい）

＜三重県漁連、三重県、三重県海水養魚協議会、銀行等が参画＞

- ▶ デジタル化を通じた空き漁場の有効活用や省力的な飼育管理の実証を通じて輸出を拡大

伊勢茶輸出プロジェクト（茶）

＜三重県、JA全農みえ、茶葉製造企業、輸出商社等が参画＞

- ▶ 有機栽培体系の大規模実証、残留農薬検査等と併せて、伊勢茶と多品目との混載輸送の実証を実施

新潟県（錦鯉）

＜新潟県、新潟県内水面試験場、養鯉生産者、JETRO、新潟県錦鯉協議会、長岡市、小千谷市等が参画＞

- ▶ 雌雄判別技術やKHVの検査技術の確立を推進するとともに、発泡資材を利用した夏場の輸出の可能性を検証

新潟県（コメ）

＜新潟県、ジェトロ新潟、クボタ、新潟クボタ、生産者（百笑会ほか）、新潟農商が参画＞

- ▶ 多収品種、直播栽培など低コスト・省力栽培体系の実証を行うとともに、新潟港の活用による効率的な物流体系を実証

新潟県（清酒）

＜新潟県、新潟県醸造試験場、新潟県酒造組合、JETRO等が参画＞

- ▶ 輸出用日本酒のラインナップを拡大するため酵母菌株を育種するとともに、県内の日本酒等についての混載・大ロット化輸出を実証

北海道産米輸出促進協議会（コメ）

＜ショクレン北海道、生産者等が参画＞

- ▶ EU、メキシコ向けに乾田直播栽培など低コスト・省力栽培技術の実証や残留農薬検査などを実施

北海道農畜産物・水産物輸出推進協議会（コメ、かんしょ、玉ねぎ）

＜北海道庁、ホクレン、JA北海道中央会、JETRO等が参画＞

- ▶ コメ：多収米の直播・減農薬栽培体系の実証やEUの包材規制等に対応した米袋の試作等を実施
- ▶ かんしょ：作付拡大に向けたポット苗の増殖方法・体制の確立、キュアリング対策の実証等を実施
- ▶ 玉ねぎ：EUの規制に対応した減農薬栽培の実証や選果を行わない集荷品の需要調査及び商品化を実施

アスノツガル輸出促進協議会（りんご）

＜日本農業、REDAPPLEが参画＞

- ▶ 海外で導入されている省力的な栽培方法「FOPS」のモデル実証を実施するとともに、高品質を維持するため鮮度保持資材やダイナミックCA技術等について試験を実施

みらいりんご輸出拡大生産推進協議会（りんご）

＜JA津軽みらい、JA全農あおもり、Wismettacフーズ等が参画＞

- ▶ 高密度栽培、着色管理が省略できる品種の導入等を実証するとともに、高密度専用台木の供給体制を構築。併せて東北の港湾や新機能コンテナを活用した物流体系を実証

茨城県産米輸出拡大実証協議会（コメ）

＜百笑市場、豊田通商、生産者、茨城県等が参画＞

- ▶ 多収米の直播栽培による低コスト化の実証や混載によるコスト削減効果の試験を実施

グローバルぶどう輸出産地協議会（ぶどう）

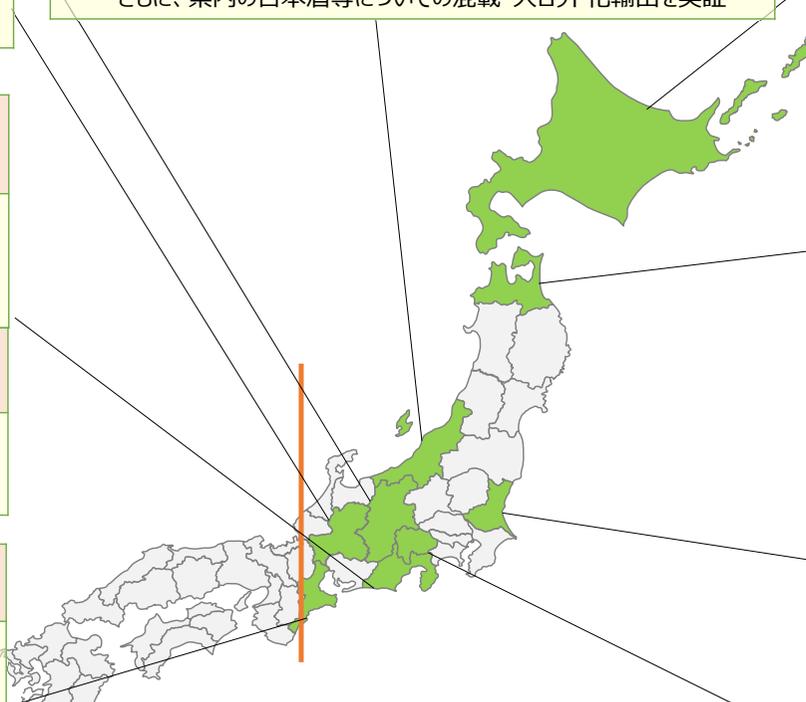
＜アグベル、アグベル桜川、金融機関、物流機関、その他生産者等が参画。山梨県と茨城県で実施＞

- ▶ 耕作放棄地等の活用により農地集約・生産効率の向上を図るとともに、台湾向けの農薬散布に適した圃場を整備。併せてテクノロジーを活用した選果作業の効率化を実証

笛吹果実輸出産地形成協議会（もも、ぶどう）

＜笛吹農協一宮ブロック果実販売対策協議会、笛吹農協、世界市場、NIPPON ICHIBA等が参画＞

- ▶ 農業会社と連携し輸出用防除暦の開発及び普及を推進するとともに、空港までのコールドチェーンの確保等を柱とする新たな物流体系を検証





GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区一覧（西日本）《R6.6.24現在》

北部九州いちご輸出促進協議会（いちご）

＜Uluu Japan等生産企業、佐賀県、日本農業、佐賀大学等が参画＞

- ▶ 使用農薬削減のための総合防除の導入により台湾向けの残留農薬基準をクリアした栽培体系の実証を行うとともに、日持ちの点で優位性がある品種の試験栽培や輸出に適した梱包資材の開発、導入を実証

大分県（ぶどう（シャインマスカット）、柑橘）

＜大分県、大分県農協、全農大分県本部、ブランドおおいた輸出促進協議会等が参画＞

- ▶ ぶどう：春節期の販売を可能とするための貯蔵技術試験を行うとともに、県内産地のリレー出荷体制を構築
- ▶ 柑橘：台湾向けの防除暦の改良を行うとともに、ハウスミカンから中晩相までのリレー出荷体制を構築

熊本県（メロン、いちご）

＜熊本県、JA熊本経済連、JA、輸出商社等が参画＞

- ▶ メロン：海外ニーズが高い赤肉メロンの作期拡大により周年供給体制を確立するとともに、輸送時のロス率軽減に向けた輸送試験を実施
- ▶ いちご：台湾向け防除暦の改良と活用により台湾向け輸出に取り組む産地を拡大するとともに、輸出に適した包装資材の導入試験を実施

宮崎県（きんかん）

＜宮崎県、みやざき『食と農』海外輸出促進協議会、JA宮崎経済連、トレードメディアジャパンが参画＞

- ▶ 台湾向け防除暦の普及を推進し、台湾向け生産園地を拡大するとともに、志布志港、細島港からの船舶輸送を実証

鹿児島県（かんしょ、きんかん、ぶり・かんぱち）

＜鹿児島県、JA鹿児島県経済連、生産組合、漁協等が参画＞

- ▶ かんしょ：有機栽培の栽培技術や資材等の導入を通じて輸出向け有機栽培面積を拡大
- ▶ きんかん：台湾向けの栽培・技術指導を行い、残留農薬検査や台湾向け防除暦のアップデートを実施
- ▶ ぶり・かんぱち：（ぶり）周年出荷体制やR8の新加工場稼働に向けた輸出出荷体制を構築（かんぱち）人工種苗による種苗生産～中間育成技術の開発・検証

HIROSHIMA Mitsu Bay Oyster 協議会(牡蠣)

＜HIROSHIMA Oysters、ファームスズキ、沖友水産等水産事業者が参画＞

- ▶ 人工種苗を活用したフランス式のブランド牡蠣大規模生産モデルへの転換を推進するとともに、広島空港の活用によりリードタイムの短縮を実現

京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会宇治茶部会（茶）

＜京都府、JA茶業部会、茶生産組合、茶商等が参画＞

- ▶ 有機栽培、減農薬栽培の栽培実証を行うとともに、複数業者とのリーファーコンテナ（冷蔵）混載輸送を実証

奈良県（いちご、柿）

＜奈良県、卸業者、仲卸業者、奈良県農協、生産団体等が参画＞

- ▶ いちご：減化学農薬による生産体系等を実証するとともに、台湾向け防除暦を作成
- ▶ 柿：タイ向けの生産体系の検証と阪神港を活用したコンテナ輸送の実証

香川県（麺類(県産小麦「さめきの夢」を使ったうどん)）

＜香川県、JA香川県、製粉会社、製麺会社等が参画＞

- ▶ うどん用小麦の新品種の作付け拡大を図るとともに、輸出用うどんの試作を実施。併せて混載による大ロット化や商品ラインナップの確保を通じて、輸送コストを低減

徳島県（かんしょ(なると金時)）

＜徳島県、世界市場、農家ソムリエーズ及び生産農家、NIPPON ICHIBA等が参画＞

- ▶ ロス率の低い系統の利用、小サイズを狙った密植栽培、減農薬栽培の実証等を行うとともに、強化ダンボールの開発により輸送効率を向上

えひめ愛フード推進機構（河内晩柑）

＜愛媛県、愛南町、JAえひめ南、生産企業等が参画＞

- ▶ EU向けの輸出を拡大するため、減農薬栽培の実証や残留農薬試験を実施

愛媛かんきつ輸出促進協議会（かんきつ）

＜遠赤青汁、愛媛県、遠赤農園、西南セーフティグループ、清五郎農園が参画＞

- ▶ 改植等を進め、有機栽培など輸出用の産地を拡大することにより、通年輸出を実現

